

令和7年度 図書館利用者懇談会 ～各館で出た図書館全体にかかわる質問～

<p><b>【対応状況・凡例】</b></p> <p>◎ 現在対応済みの項目</p> <p>○ 早急に対応を行う項目</p> <p>□ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目</p> <p>一 対応が困難な項目</p> <p>★ その他、上記以外のもの</p>
--

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況	質問が出た館
1	練馬図書館は駅から遠い。返却だけのために来館するのが大変なので、利便性高い場所に返却ポストを作ってほしい。	利便性の高い場所に「返却ポスト」のみを設置することは、適切な管理・運用が困難なこと等の理由により実施は考えておりません。	一	練馬
2	館内で検索した結果がレシート印刷されず、手書きのメモなどが必要。システム入替したが、改善されなかった。なぜか。	スマートフォンで書誌情報や所在を確認することができるため、レシートの導入は考えておりません。スマートフォンをお持ちでなく希望の方には、スタッフのご案内します。	一	練馬 光が丘
3	経済産業省が「書店活性化プラン」を公表している。他の自治体では事例があるので、練馬区の図書館も地元の書店との連携を検討してほしい。	今年度から地域の書店組合と連携事業を実施しています。書店で図書館の情報を掲示したり、共催で講演会を実施しました。	◎	石神井 光が丘
4	『日本の図書館』で練馬区の図書館の予算を見ていると、前年比で館の運営費は上がっているが、資料費は下がっている。もっと東京都に対して働きかけを行い、資料費を増やしてもらうべきである。	ご指摘のとおり令和2年度～4年度にかけては、コロナの影響により、資料費は減少していましたが、令和5年度以降は増加しています。今後も適切な購入に努めていきます。	◎	石神井 光が丘
5	Nerima Free Wi-Fiの制限時間を長くしてほしい。	令和7年12月より区内のNerima Free Wi-Fi全てにオープンローミングを導入しておりますので、一度登録をすることで、制限なくご利用いただけます。	◎	大泉
6	練馬区は図書館が少ないので図書館を作ってほしい。また本だけではなくスペースとしての図書館という考え方は区としてないのか。	現在、区立図書館は、12館1分室の体制で、新設する計画はありませんが、受取窓口については、増設を検討していきます。 また本を借りる、調べものをするなどの従来の役割だけでなく、多様な学びの機会を提供することを目的として、多様な講座やイベントを実施し、区民の学びや暮らしの中で直面する課題解決の支援にも力を入れています。	□	大泉

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況	質問が出た館
7	大型絵本の取り扱いについて。現在は光が丘で一括管理している。他の区では各館で自由に見ることができる。練馬区でも各館で扱うようにしてほしい。	練馬区立図書館では貸出用として所蔵する大型絵本は171タイトル、241冊あります。 大型絵本が出版される冊数は、年間を通じて少なく、また、一冊あたりの単価も高額で複数冊の所蔵が難しいため、利用需要が高い割に区内所蔵数も少ない状況です。そのため、一般貸出と別の基準（利用申請・予約、蔵書は一括管理）を設けています。	一	貫井
8	区立児童館職員より質問。夏の暑さが過酷で、外で遊べない状況であるが、公共施設として子供たちの居場所の提供ということは考えていないか？	熱中症を予防するため、図書館はクーリングスポットとして開放しております。引き続き読書や学習の場としての居場所の提供を実施していきます。	◎	貫井
9	練馬区は中央図書館を持つべきであり、区の職員の中で図書館のスペシャリストを育成すべきである。	光が丘図書館が中央図書館の役割を担っています。職員の育成については、引き続き検討していきます。	□	貫井
10	対面朗読室の予約は、光が丘図書館が一括して管理するのではなく、各館対応にしてもらいたい。	対面朗読事業を光が丘図書館だけがっており、一元管理している。ボランティアも複数館を担当する場合がありますので、単館ではなく一元管理しています。今後もこの方法を変更する予定はありません。	一	貫井
11	光が丘図書館があまりにも手狭。構想の中で、光が丘の機能改善も含めた構想としてほしい。	区立施設については「練馬区公共施設等総合管理計画」に基づき、改修・改築を行います。光が丘図書館については、今後大規模改修を検討する中で機能改善も含めて検討していきます。	□	貫井
12	イベントの対象について、ポスターなどに小学生以上、中学生以上などと区切って書いているが、学校に行っていない人にとっては来にくいのではないだろうか。表現の仕方に工夫があっても良いと思う。	日本の学齢期、学年で募集することが多い状況です。年齢だと学年が異なったり、募集内容によっても異なる場合もありますので、どのような表現方法があるか、検討していきます。	□	小竹 光が丘
13	海外からの労働者や若い社会人のために、図書館には社会教育の担い手になってほしい。	社会教育の一つの機関として図書館は様々な機能を果たしていると考えています。海外からの労働者や若い方のために外国語の図書の所蔵を増やすことやレファレンスに対応できるよう努めています。	□	春日町
14	イベントの告知などにねりはぐアプリや各館でInstagramなどSNS等の活用を進めてはどうか。	イベントの告知は区のアカウント（X・LINE）を活用して周知しています。その他のSNSについては引き続き検討していきます。	□	南田中

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況	質問が出た館
15	<p>ベストセラーなど予約が多い本の所蔵を増やし、電子書籍を活用して読みたい本を早く読める環境を整えてほしい。また電子図書館の拡充ペースに期待したい。</p>	<p>購入可能で紙での予約が多い本については電子書籍も積極的に所蔵するようにしています。ただベストセラー等は図書館向け電子書籍に対応していないのが現状です。</p> <p>また電子書籍については導入後10年間で電子書籍のメリットを活かせるもの(実用書やガイドブックなど)を中心に10,000点導入することを目標に進めていきます。</p>	◎	小竹光が丘